



写真1 日枝神社

## 近隣史跡の紹介

### 日枝神社 神幸祭

日枝神社は「山王さん」とも称され、国会議事堂の裏側、赤坂溜池を望む星が岡(永田町2丁目)に御鎮座しています。

文明10年(1478年)太田道灌が江戸城を築城するにあたり、城内に鎮護の神として川越山王社を勧請、天正18年(1590年)徳川家康が江戸城を居城とするに至って「城内鎮守の社」として、また、江戸庶民からは「江戸郷の総氏神」として崇敬されました。

境内には狛犬はなく、「神猿」が置かれています。御祭神の大山咋神(おおやまくいのかみ)が山の神であり、同じく山の守り神とも呼ばれる猿が使いとして重宝されていたようです。「さる」という音から「勝る(まさる)」「魔が去る(まがさる)」とも考えられ、勝運の神や魔除けの神として、また音読みの「えん」という音から、「縁(えん)」を運んできてくれると考え、商売繁盛や縁結びにご利益があるとも言われています。

6月には「山王祭」の行事の1つである「神幸祭」が行われます。隔年で催行され、今年の本祭の年にあたります。

「神幸祭」は、鳳輦2基、宮神輿1基、山車5基が王朝装束に威儀を正した奉仕者により、氏子区域である新宿区(四谷)、千代田区(神田方面を除く)、中央区、港区(新橋)の東京都心をおよそ20kmの行程で巡ります。総勢500名、約300mの祭礼行列で、徳川時代は、江戸城内に入御した御神輿を歴代の将軍が上覧拝礼する「天下祭」として盛大をきわめ、現在は、皇居坂下門にて駐輦、神符の献上及び参賀を行っています。

参考文献

皇城の鎮 日枝神社 ●URL <https://www.hiejinja.net/>  
<http://www.tenkamatsuri.jp/>



写真2 神幸祭

